

爽風

館林記念病院 広報誌「そうふう」 vol.60

CONTENTS

- リハビリテーション科について
- 低線量肺がんCT検診

リハビリテーション科

当院は、地域に根付いた医療や介護事業サービス提供を行っています。

2006年06月に館林・邑楽地域で初めて回復期リハビリテーション病棟を開いたしまして、14年間主に脳卒中や大腿骨頸部骨折などの疾病を呈された方のリハビリテーション、退院支援を行ってきました。当院では、手術などの高度医療は行えない反面、群馬県内はもとより、館林市は立地上県境ということもあり、栃木県、茨城県、埼玉県など県外からのリハビリテーション目的での転入院も積極的に受け入れております。

2014年04月からは、一般病棟内に地域包括ケア病床も開設いたしております。また、療養病棟と合わせまして、様々な疾患や病状に合わせた入院病床にリハビリテーション科として関わらせて頂いています。

介護保険部門のリハビリテーションとして、訪問リハビリ、短時間通所リハビリ（1～2時間）、併設の建物では通所リハビリテーション事業、法人では、介護老人保健施設も運営しています。

回復期リハビリテーション病棟や近隣病院の退院後のフォローアップや在宅生活で加齢等により運動機能の低下された方が、より長く住み慣れたご自宅で生活できるように支援させて頂いております。

リハビリテーション科は、理学療法士19名、作業療法士11名、言語聴覚士2名、リハビリ助手5名で運営しています。当院のスタッフは若手中心ではありますが、多種多様な疾患、患者様、利用者様お一人お一人の生活スタイルに対応できるように、各自様々な研修会への出席や、院内勉強会にて情報交換を行ったりと日々切磋琢磨しながら成長を目指しています。

当院は、館林・邑楽地区の地域医療を担う病院として、リハビリスタッフ一人一人が自覚し、リハビリテーションは基より、疾病後の退院支援、退院後の生活支援、健康寿命の促進などに関わらせて頂いております。

当院の病院理念に基づいた心に残る医療を提供できるよう、患者様に寄り添ったリハビリテーションをスタッフ一同心掛けております。



回復期リハビリテーション

回復期リハビリテーションでは、身体機能や生活能力の回復に向け、理学療法士や作業療法士による移動動作の練習やトイレ、服の着替えなどの日常生活動作（ADL）練習、高次脳機能障害に対するリハビリテーション、言語障害がある場合、言語聴覚士によるリハビリテーションも行います。入院された時から退院後の生活を考え、患者様個々に合わせたリハビリテーションプログラムを提供します。また、社会資源の利用や生活環境の整備もサポートさせていただきます。

当院では、365日リハビリテーションを提供させて頂いています。また、早朝や夕方といった日勤時間帯以外でのリハビリテーションも行っており、病棟スタッフと共に日常生活動作の向上に努めています。

多くの医療専門職がチームを組んで集中的なリハビリテーションを実施することで、患者様・ご家族様に安心してご自宅での生活や社会に戻って頂く支援をさせていただきます。

退院後の生活への不安を払拭できるよう、安全・安心を心掛け、患者様の生活の質（QOL）を常に考え、最善のリハビリテーションを提供する努力をしております。

外来リハビリテーション

外来リハビリとは、在宅生活を送りながらも通院可能な方に対して提供するリハビリテーションです。医師の指示のもと、様々な病気や障害に応じてプログラムを組み、身体機能の向上を図ってまいります。主に運動のリハビリ、日常生活のリハビリ、言葉のリハビリ、呼吸のリハビリ等実施しております。また、ご自宅で行える運動や生活上の注意点の指導なども行います。対象となる患者様は①リハビリ可能な疾患をお持ちの方②他施設にてリハビリを行っていない方③介護保険の認定を受けていない方（例外もあります）。

リハビリをご希望とされる方は主治医と相談の上行きます。また、他院に入院後にご利用される方は診療情報提供書（紹介状）が必要になります。

通所リハビリテーション

通所リハビリテーションでは、介護保険にて、要支援又は要介護の認定を受けた方を対象にリハビリテーションを行なっています。サービス内容としては、療法士との個別リハビリの他、パワーリハビリ・エルゴメータ等の機械を使用した自主練習を提供しており、1時間以上2時間未満の時間内で過ごしていただいています。

リハビリテーションがメインとなっているため、食事や入浴といったサービスはありません。利用者様が自立した日常生活を送れるように支援しており、主にご自宅で困っている動作や、「外出したいが体力的に不安がある」「地域での活動機会を増やしたい」といったご希望に添えるようリハビリを実施しています。また、利用者様に合った自主練習を考案し、皆様の生活のサポート、社会参加に向けて支援を行なっています。

訪問リハビリテーション

専門のリハビリテーションスタッフ（理学療法士・作業療法士）がご自宅に訪問し、より良い生活を送っていただくための支援を行います。ベッドからの起き上がり、立ち上がり、車椅子への乗り移り、トイレ動作、食事、着替えなどの身の回りの動作の練習を主に行います。また、歩く練習や段差の昇り降りといった移動の練習、ご家族様への介助方法の指導、福祉用具や住宅改修のアドバイス、趣味活動や社会参加への支援なども行っています。

訪問リハビリは、外出することが困難な方や、生活上で困っていることをご自宅の環境で練習したい方を対象に支援させて頂いています。



低線量 肺がんCT 検診

・低線量肺がんCT検診

検診においてほとんどが健常者である受診者に対して、通常診療と同等の方法でCT検査を実施することは、放射線被ばく等を考えると適切であるとはいえません。

そこで従来のCT検査よりも放射線量を10分の1に抑えて、被ばく線量を最低限に抑えたCT検査が「低線量肺がんCT検診」になります。

・肺がんについて

日本における「がん」による部位別死亡率の第1位は「肺がん」です。

肺がん死亡を減少させるためには肺がんの早期発見、早期治療が有力とされています。

従来の胸部X線検診と比較して、CT検診による肺がんの発見率は10倍程度高く、発見された肺がんは早期がんである比率が高く、その治療成績も良好とされています。

	1位	2位	3位
	肺	胃	大腸
	大腸	肺	膵臓
男女計	肺	大腸	胃

(国立がん研究センター 最新がん統計2019)

・肺がんCT検診のメリット

胸部X線検査ではわかりにくい、小さな陰影や淡い陰影の肺がん、また心臓や横隔膜に隠れて見えない肺がんを見つけることができます。

胸部CT検査では、肺がんだけでなく、慢性疾患や感染症（肺気腫、肺炎、気管支拡張症、肺結核、抗酸菌症など）や、肺以外の病気（心臓や血管の動脈硬化像、乳がんなど）なども同時に発見される利点があります。

食事制限の必要もなく、検査時間は5分ほどで、痛みもありません。

・肺がんCT検診のデメリット

検診で異常影を認めても、結果的に肺がんでないこともあり、その中には肺がんとの鑑別が難しい影もあります。良性・悪性の鑑別のための精密検査や経過観察も追加で必要になってくる場合があります。

CT検診は、低線量とはいえ若干の放射線被ばくがあります。しかし、この低い被ばく線量では将来的にがんを発症する確率は非常に低いと考えられます。

定期的なCT検診ですべての肺がんが早期にみつかるわけではありません。中には進行が非常に速い悪性度の高いがんが存在します。

・肺がんCT検診の対象

- ① 45歳以上の肺がんが心配な方
- ② 喫煙者（過去も含める）
特に 1日の喫煙本数×喫煙年数 = 600以上の方
- ③ 同居者に喫煙者がいる方
- ④ 近親者に肺がんの患者さんがいる方
- ⑤ 咳・痰・胸痛が1ヵ月以上続く方
- ⑥ 肺がんが心配な方

以下に該当する方は、対象外とさせていただきます。

- ① 40歳未満の方
→ 放射線被ばくによるデメリットを考慮します。
- ② ペースメーカー・植え込み式除細動器を装着されている方
→ 機器の影響で画像が広範囲に低下します。
- ③ 妊娠中またはその可能性のある方



外来医師担当表

- ・診察時間
午前 9時00分～12時00分 午後 14時00分～17時30分
- ・休診日
土曜日午後、日曜日、祝祭日、年末年始は休診となります。

2021年04月

診療科	午前/午後	月	火	水	木	金	土
一般内科	午前	○	○	○	○※	○	○※
	午後			○	○	○	
糖尿病内科	午前	堀越	堀越	堀越		堀越	堀越※
呼吸器内科	午前		中村				
	午後		中村		内田		
消化器内科	午前	別府		別府	別府	別府	別府※
	午後	別府※		別府※	別府	別府※	
循環器内科	午前					大澤	
	午後	大澤					
脳神経内科	午前		西平				
	午後		西平				
整形外科	午前	宮澤	宮澤	宮澤		宮澤	
	午後	宮澤	宮澤	宮澤		宮澤	
外科	午前	新出※		新出※	新出※		
皮膚科	午前	児嶋	児嶋	児嶋	児嶋	児嶋	
眼科	午前	中野		中野		中野	
リハビリテーション科	午前	○	○	○	○	○	
	午後	○	○	○	○	○	
禁煙外来	午前	○	○	○	○※	○	
	午後		○※	○※			

新型コロナウイルス 予防対策実施中



ご協力をお願いいたします



- ※ 初診の患者さまの受付時間は、検査等の時間を考慮し、午前は11:30 まで、午後は17:00 までとさせていただきます。ご注意ください。
- ※ 各診療科の担当医が学会出席等の理由で休診となる場合があります。
- ※ 呼吸器内科・循環器内科・眼科は、「予約制」になります。
- ※ 一般内科の木・土曜日は、11:30 までの受付となります。
- ※ 糖尿病内科の土曜日は、第1・3・5になります。
- ※ 消化器内科の月・水・金曜日の午後は、15:30 からになります。土曜日は11:30 までの受付になります。
- ※ 外科は、11:30 までの受付になります。
- ※ 禁煙外来の木曜日は11:30 まで、火曜日の午後は予約制、水曜日の午後は15:30 からになります。
- ※ 精神科は現在休診となっています。



医療法人 六花会 館林記念病院

群馬県館林市宿町7-18

TEL:0276(72)3155 FAX:0276(74)1368

<http://www.rikkakai.jp>

病院理念 「心に残る医療を提供する」

基本方針

1. 地域社会に開かれた病院
2. 当院を利用される方に安全・安心を与えられる病院
3. 常に新しい医療を提供する病院
4. 当院を利用される方が気楽に利用しやすい病院
5. 当院を利用される方が満足を得られる医療を提供する病院
6. 職員をはじめ当院に関わる人達も満足を得られる病院